

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,848	20.2	299	—	294	—	223	—
29年3月期第1四半期	4,863	△9.4	△255	—	△351	—	△356	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 290百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,445百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	31.15	—
29年3月期第1四半期	△49.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	24,049	11,678	45.7
29年3月期	23,305	11,387	46.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,989百万円 29年3月期 10,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	4.2	450	460.6	400	—	300	—	41.74
通期	25,000	3.9	800	44.5	750	11.5	600	107.9	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,739,548株	29年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	552,649株	29年3月期	552,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	7,186,899株	29年3月期1Q	7,186,899株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策効果により、企業収益の回復や雇用・所得環境に改善傾向がみられるものの、個人消費は依然として足踏み状態が続いております。

世界経済は総じて回復基調を維持しており、米国では、企業業績及び個人消費の改善を背景に設備投資が回復し、着実に景気拡大を続けております。また、経済減速が懸念される中国においても、インフラ投資の拡大や輸出の持ち直しがみられました。しかし、一方で、景気の下振れ要因として、米国の経済及び外交政策の動向、欧州の政治情勢、北朝鮮及び中東地域における地政学的リスクなどが内在し、予断を許さない状況が続いております。

当社を取り巻く業界では、白物・小物家電市場において、中国の内需は低迷しているものの、インドやインドネシア、ベトナムをはじめとした東南アジアの需要が堅調に拡大し、インバーター化製品が普及する一方、スマート冷蔵庫などIoT家電への注目が集まっております。ヘルスケア機器関連においては、中国とアジア新興国を中心とした生活水準の向上による健康志向の高まりを背景に、セルフケア健康機器や美容関連製品が伸長しており、市場は堅調に拡大しております。また、自動車関連において、海外では、米国及び欧州の新車市場の減速、中国は内需減少基調となる一方、国内では、新車登録台数が軽自動車、普通自動車ともに増加傾向が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、主要セグメントでありますプラスチック成形事業が売上を伸ばし、主力製品の自動車関連部品を初め、電子ペンやヘルスケア機器などが順調に受注を確保しております。また、継続的な低コスト構造の構築及び財務体質の強化により売上原価率が82.3%と前年同四半期と比べ8.0ポイント改善しております。一方、為替相場が比較的安定して推移した事により損益に与える影響は少なく、その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は58億4千8百万円と前年同四半期と比べ9億8千4百万円(20.2%)の増収、営業利益は2億9千9百万円(前年同四半期は営業損失2億5千5百万円)、経常利益は2億9千4百万円(前年同四半期は経常損失3億5千1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千3百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億5千6百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度に引き続き主力製品のエアコンパネルやナビゲーションなどの自動車向け部品が牽引し、生産エリアを拡張したムトーベトナムCO., LTD. の血圧計・血糖値計などのヘルスケア機器やミラーレス一眼カメラ部品が順調に売上を伸ばしております。また、中国・東南アジアにおけるプリンター業界の回復基調及び得意先による生産拠点のベトナム移管に伴いムトーテクノロジーハノイCO., LTD. のプリンター部品の売上が増加しております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて52億5千9百万円と前年同四半期と比べ9億7千2百万円(22.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億2百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2億3千2百万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペン関連部品が増加傾向にあるものの、総体的な市場の縮小により、デジタルカメラやカーオーディオなどの精密部品は新規案件が減少傾向にあり、厳しい価格競争が続いております。また、主要材料のステンレスやアルミニウムの価格高騰が収益を圧迫し付加価値が減少しております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億4千6百万円と前年同四半期と比べ5百万円(1.1%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は4百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2千5百万円)となっております。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、前連結会計年度において売上を伸ばしたパッケージ基板や複写機などの設計業務の売上が大きく減少いたしました。また、検査部門においては、セラミック基板やパッケージ基板の検査業務が増加したものの、電波時計に使用される基板や遊技機器に使用される基板の受注が減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6千3百万円と前年同四半期と比べ5百万円(7.7%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年同四半期と比べ0百万円(24.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億3千5百万円増加し、158億8千2百万円となりました。現金及び預金が4億6千5百万円、商品及び製品が1億1千1百万円、仕掛品が2億3百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1億8千7百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9千1百万円減少し、81億6千6百万円となりました。有形固定資産が1億1百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億4千4百万円増加し、240億4千9百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億6千8百万円増加し、92億8千6百万円となりました。支払手形及び買掛金が1億4千8百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億8千5百万円増加し、30億8千5百万円となりました。長期借入金が2億6千2百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億5千3百万円増加し、123億7千1百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億9千万円増加し、116億7千8百万円となりました。利益剰余金が2億2千3百万円増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)、通期)及び配当予想(第2四半期末、期末)につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,852,024	6,317,990
受取手形及び売掛金	4,727,359	4,539,458
電子記録債権	614,589	670,527
商品及び製品	772,580	884,052
仕掛品	897,780	1,100,995
原材料及び貯蔵品	1,537,700	1,606,358
未収入金	215,862	239,789
繰延税金資産	3,638	7,884
その他	426,644	517,102
貸倒引当金	△1,240	△1,240
流動資産合計	15,046,939	15,882,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,995,653	1,972,616
機械装置及び運搬具（純額）	3,376,361	3,298,380
土地	1,077,670	1,079,847
建設仮勘定	53,913	110,443
その他（純額）	931,661	872,009
有形固定資産合計	7,435,260	7,333,297
無形固定資産	263,514	259,212
投資その他の資産		
投資有価証券	281,727	281,201
退職給付に係る資産	109,243	120,540
その他	171,772	175,450
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	559,857	574,307
固定資産合計	8,258,632	8,166,817
資産合計	23,305,572	24,049,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,647,324	2,796,124
短期借入金	4,345,940	4,321,010
1年内返済予定の長期借入金	1,102,179	1,133,788
未払法人税等	104,833	103,294
賞与引当金	187,908	102,945
繰延税金負債	4,212	4,419
その他	725,649	824,695
流動負債合計	9,118,047	9,286,276
固定負債		
長期借入金	2,194,760	2,457,373
繰延税金負債	263,365	276,064
役員退職慰労引当金	127,941	131,138
退職給付に係る負債	205,065	212,464
その他	8,986	8,162
固定負債合計	2,800,118	3,085,203
負債合計	11,918,166	12,371,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	7,187,414	7,411,303
自己株式	△397,733	△397,733
株主資本合計	11,224,736	11,448,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,030	57,264
為替換算調整勘定	△568,046	△516,787
その他の包括利益累計額合計	△510,015	△459,523
非支配株主持分	672,685	689,153
純資産合計	11,387,406	11,678,256
負債純資産合計	23,305,572	24,049,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,863,603	5,848,322
売上原価	4,390,899	4,811,584
売上総利益	472,703	1,036,738
販売費及び一般管理費	728,323	736,908
営業利益又は営業損失(△)	△255,619	299,829
営業外収益		
受取利息	7,213	11,075
受取配当金	2,964	2,542
その他	4,220	4,699
営業外収益合計	14,398	18,317
営業外費用		
支払利息	14,518	21,541
為替差損	95,460	1,628
その他	378	—
営業外費用合計	110,357	23,170
経常利益又は経常損失(△)	△351,578	294,977
特別利益		
固定資産売却益	2,387	2,890
特別利益合計	2,387	2,890
特別損失		
固定資産除却損	544	2,416
特別損失合計	544	2,416
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△349,734	295,451
法人税等	23,600	63,474
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△373,335	231,977
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,801	8,087
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△356,534	223,889

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△373,335	231,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,547	△766
為替換算調整勘定	△1,034,585	59,639
その他の包括利益合計	△1,072,132	58,872
四半期包括利益	△1,445,467	290,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,370,424	274,381
非支配株主に係る四半期包括利益	△75,042	16,468

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,280,775	516,031	66,795	4,863,603	—	4,863,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,489	24,615	2,352	33,457	△33,457	—
計	4,287,264	540,647	69,148	4,897,060	△33,457	4,863,603
セグメント利益又は損失(△)	△232,642	△25,486	2,510	△255,619	—	△255,619

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,256,008	530,748	61,565	5,848,322	—	5,848,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,526	15,737	2,275	21,539	△21,539	—
計	5,259,535	546,485	63,840	5,869,862	△21,539	5,848,322
セグメント利益又は損失(△)	302,656	△4,721	1,895	299,829	—	299,829

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。